

7月4日（金）に専修学校制度制定50周年を記念して、記念式典と祝賀会が東京都内のホテルアルカディア市ヶ谷で盛大に開催されました。

式典には、来賓として文部科学省の武部新副大臣や自由民主党専修学校等振興議員連盟会長の遠藤利明衆議院議員をはじめ、文部科学省幹部の皆様が参列される中、全国から集まった専修学校・各種学校の多くの関係者が出席して、盛大に行われました。

主催者である全国専修学校各種学校総連合会の多忠貴会長が、式辞の中で「7月11日は昭和50年に学校教育法の一部改正により、専修学校制度が発足した日であり、この日を『職業教育の日』として定めその50周年に合わせてこの式典を開催します」と挨拶しました。

専修学校は、令和6年度現在、全国の学校数3千校、在学者61万人となっています。直近の10年間には、修学支援新制度や職業実践専門課程認定校に対する特別交付税措置が適用され、昨年度は高等専修学校も同様な措置が適用されるなど、公的支援が大幅に拡大してきました。

式典では、これまでの関係者の功績を称え、文部科学大臣表彰や、顕彰・会長感謝状や会長表彰などの授賞式が行われました。本県では、専門学校日産栃木自動車大学の川上宏美様が文部科学大臣表彰を受賞し、会長表彰が34名となりました。会長表彰は、8月21日（木）の第55回北関東信越ブロック大会の中で、各県代表者への授与式が行われます。



式典中は撮影禁止のため開始前の会場の様子です。中央で立って会話しているのは、当連合会の細野副理事長（左）と受賞者の川上さん（右）です。



文部科学大臣表彰を手にする受賞者の川上宏美さん。川上さんは、昭和53年に日産自動車㈱に入職後、平成15年から現在まで自動車整備の専門学校の経営や運営に従事されました。また、平成19年から通算9年間、栃木県専修学校各種学校連合会の理事を務められ、栃木県内の専修学校等の管理運営の振興と教育の向上にも貢献されました。

式典後には祝賀会が開催されました。挨拶をする全国専修学校各種学校総連合会の多会長です。

